

Electronics
and
Semiconductor



Transportation



Machinery



Stone
and
Construction



Other



株主のみなさまへ

第96期 報告書

2014年4月1日  2015年3月31日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、代表取締役社長に就任いたしました、片岡和喜でございます。就任にあたりまして、強い責任感と緊張感をもって、みなさまのご期待に沿えるよう、精進してまいります。

当社は、2017年の創立80周年に向け、新たな中期経営計画を策定いたしました。世界をリードする「グローバルダイヤモンド工具メーカー」を目指し、グループ丸となり邁進してまいります。

ここに、第96期（2015年3月期）の業績と次期の見通しについてご報告させていただきます。

株主のみなさまには、今後とも倍旧のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 **片岡 和喜**

2015年6月

Q 当期(第96期)の業績について
ご説明願います。

A 全ての業界向けの売上高で、
前期を上回ることができました。

当連結会計年度における国内経済は、消費税率引上げに伴う影響により景気は一時的に落ち込みましたが、輸出や設備投資の回復、底堅い個人消費などにより、緩やかな回復に転じております。また、世界経済も総じて緩やかな景気回復が続きました。米国では堅調な個人消費や設備投資などにより景気は着実に回復し、欧州も緩慢ながら景気は回復傾向を続けました。中国では安定成長に向け景気は減速傾向となりましたが、中国以外の新

興国では緩やかな景気回復が続いております。

このような状況のなか、当社グループは積極的な販売活動を実施してまいりました。この結果、電子・半導体業界、輸送機器業界、機械業界、ならびに石材・建設業界のいずれの業界向け関連工具の販売も前期を上回る実績となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は455億50百万円(前期比11.0%増)となりました。利益面におきましては、海外顧客向けの売掛債権に対し貸倒引当金を10億78百万円繰り入れたことから、営業利益は51億36百万円(前期比6.2%増)、経常利益は59億91百万円(前期比2.9%増)となりました。また、連結子会社の旭ダイヤモンドインダストリ

アルヨーロッパSASにおける合理化費用の引当金繰入額2億81百万円など特別損失を計上したことから、当期純利益は35億84百万円(前期比3.1%減)となりました。

期末配当金につきましては、期初の予想通り、1株につき18円(前期比6円増)とさせていただきます。これにより、中間配当金と合わせた年間配当金は1株につき30円(前期比8円増)となりました。

Q 今後の計画についてお聞かせください。

A 「中期経営計画2017—Polish Up Asahi—」を実行し、グローバルダイヤモンド工具メーカーを目指します。

当社は創立80周年となる2017年度に向け、「中期経営計画2017—Polish Up Asahi—」を策定いたしました。本中期経営計画は社内プロジェクトから提言された各部門の改革テーマを柱とし、全社的な中期経営計画として発展させたものです。

本計画は、「GLOBAL510 (グローバルファイブテン)※」を早期達成し、グローバルブランドとしての地位の確立と、企業としての持続的な成長および企業価値の向上を目標とするものです。

この目標を達成するために、「(1)売上高・営業利益等の数値目標達成、(2)資本効率および資産効率の向上、(3)実効的なコーポレートガバナンスの実現」の3つの基本方針を取りまとめました。

この基本方針に基づき、具体的な施策を実行してまいります。

※ 連結売上高500億円、世界のダイヤモンド工具推定需要のシェア10%確保を目指す、長期経営目標

Q 次期(第97期)の見通しをお聞かせください。

A 拡販によるシェアアップと、海外拠点の強化を行います。

次期については、国内経済、世界経済における緩やかな景気回復の影響を受け、当社グループの主要顧客である電子・半導体業界、輸送機器業界、機械業界における世界的な生産の拡大や、国内公共事業のインフラ再整備へのシフトが期待され、関連工具の需要は拡大して行くものと予想されます。

拡大する需要を確実に取り込むとともに、拡販によるシェアアップを目指してまいります。

また、次期は前述いたしました、中期経営計画の初年度となります。製品開発機能の強化、海外拠点の新設・機能拡大および整備に経営資源を投入するとともに、リスク管理体制の強化を図り、目標達成に向けて全力を挙げてまいります。

第97期の連結業績予想 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

売上高	46,500百万円	(当期比 2.1%増)
営業利益	5,500百万円	(当期比 7.1%増)
経常利益	6,050百万円	(当期比 1.0%増)
当期純利益	4,250百万円	(当期比 18.6%増)
年間配当金	1株当たり30円(中間15円、期末15円)	

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンドおよびCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

電子・半導体業界

Electronics and Semiconductor

アジアを中心に電着ダイヤモンドワイヤの販売が伸びたほか、半導体市場の拡大を受け、売上高は211億70百万円(前期比14.9%増)となりました。



売上構成比

46.5%

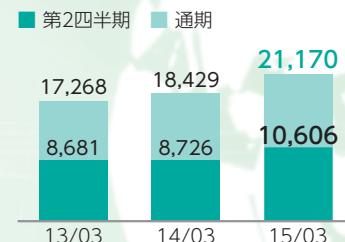


売上高

21,170百万円



売上高 (単位: 百万円)



輸送機器業界

Transportation

日系自動車メーカーの海外での生産増や、国内の航空機エンジン部品の生産増を受け、売上高は77億53百万円(前期比5.4%増)となりました。

売上構成比

17.0%



売上高

7,753百万円



売上高 (単位: 百万円)



機械業界

Machinery

自動車の世界生産の増加や、企業の設備投資の増加による国内需要の回復により、売上高は93億50百万円(前期比12.5%増)となりました。



売上構成比

20.5%

売上高

9,350百万円



売上高 (単位: 百万円)



石材・建設業界

Stone and Construction

公共工事の工事量が伸び悩んだ影響を受けた一方、海外鉱物資源探査でのスポット需要を取り込んだことにより、全体では増加し、売上高は52億96百万円(前期比4.4%増)となりました。

売上構成比

11.6%

売上高

5,296百万円



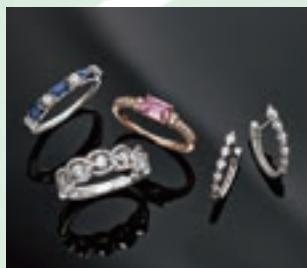
売上高 (単位: 百万円)



その他

Other

大学、研究機関、窯業および宝飾等上記以外の業界への売上高は19億78百万円(前期比5.2%増)となりました。



売上構成比

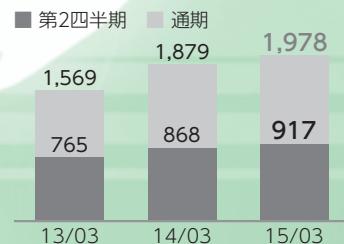
4.4%

売上高

1,978百万円



売上高 (単位: 百万円)



日本

(単位:百万円)

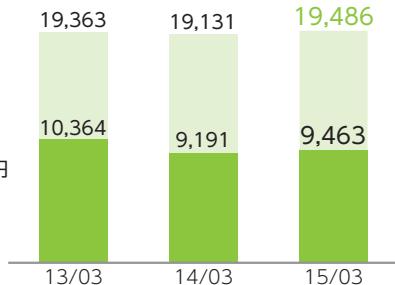
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

19,486 百万円

売上構成比

42.8%



台湾

(単位:百万円)

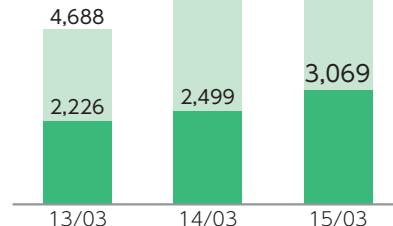
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

6,307 百万円

売上構成比

13.8%



中国

(単位:百万円)

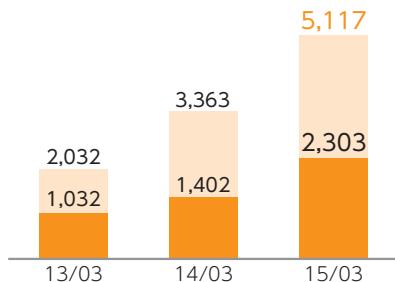
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

5,117 百万円

売上構成比

11.2%



その他アジア・オセアニア

(単位:百万円)

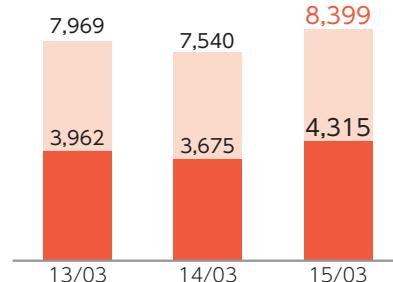
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

8,399 百万円

売上構成比

18.4%



ヨーロッパ

(単位:百万円)

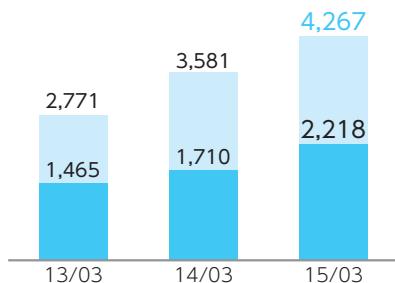
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

4,267 百万円

売上構成比

9.5%



その他

(単位:百万円)

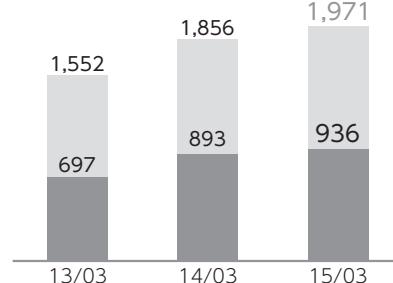
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

1,971 百万円

売上構成比

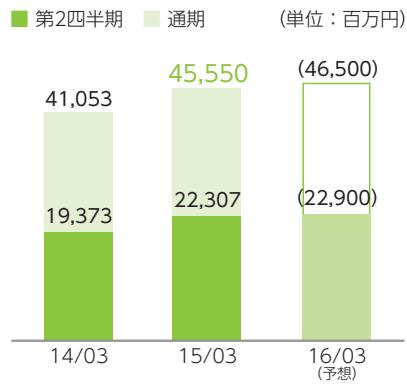
4.3%



当期の
業績のポイント

売上高	45,550 百万円	(前期比 11.0% 増↑)
経常利益	5,991 百万円	(前期比 2.9% 増↑)
当期純利益	3,584 百万円	(前期比 3.1% 減↓)
年間配当金	30 円	(前期比 8円 増↑)

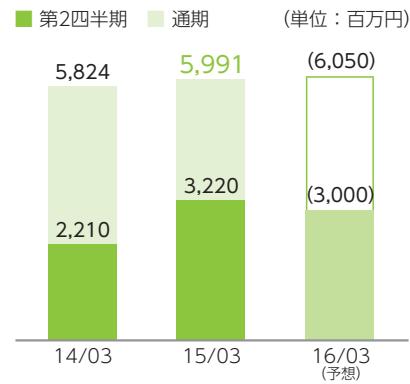
売上高



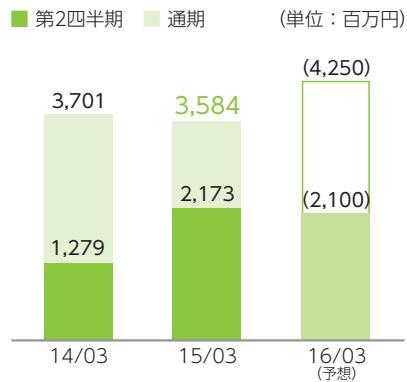
営業利益及び売上高営業利益率



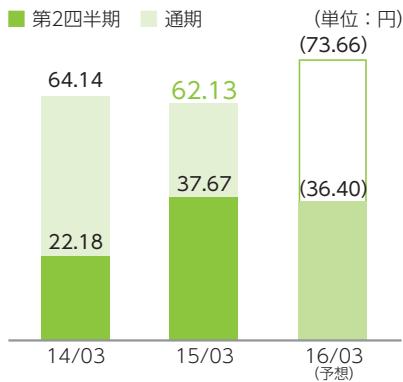
経常利益



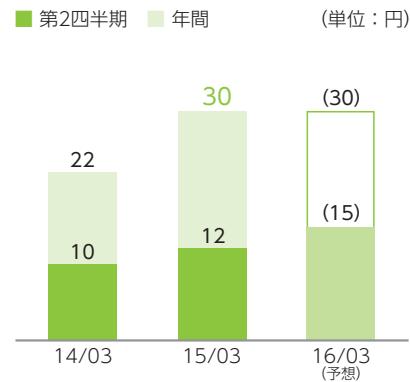
当期 (四半期) 純利益



1株当たり当期 (四半期) 純利益



1株当たり配当金



当社は、創立80周年となる2017年度に向け、中期経営計画を策定いたしました。

このページでは、中期経営計画のポイントを紹介いたします。

目標達成のため、様々な施策を実行してまいります。

目標

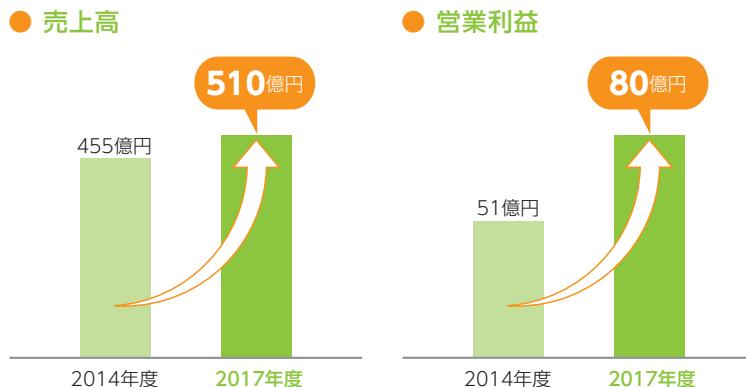
- グローバルブランドとしての地位の確立
- 持続的な成長と企業価値の向上

3つの
基本方針

- ① 売上高・営業利益等の数値目標達成
「GLOBAL510」の早期達成と利益率の向上
- ② 資本効率および資産効率の向上
自己資本の増加抑制、資産の見直し、資本効率・資産効率の向上
- ③ 実効的なコーポレートガバナンスの実現
「コーポレートガバナンス・コード」の趣旨を踏まえたコーポレートガバナンスの実現

数値目標

● 2017年度連結業績目標	
連結売上高	510億円
営業利益	80億円
営業利益率	15.7%
ROE	10.0%
連結配当性向	40.0%以上



主な施策

- グローバル市場に対応した最高品質製品の開発と顧客満足度の高いサービスを提供
- 研究開発体制の強化
- 製品開発、生産の省力化および製品の信頼性向上のための設備投資の実施
- 海外販売子会社の新設および既存海外子会社の業務拡大
- 自己資本増加の抑制および資産の見直し

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当期 2015.3.31	前期 2014.3.31
資産の部		
流動資産	33,622	34,268
固定資産	40,771	35,388
有形固定資産	25,247	22,232
無形固定資産	110	125
投資その他の資産	15,412	13,029
資産合計	74,394	69,656
負債の部		
流動負債	7,083	7,779
固定負債	8,532	6,606
負債合計	15,615	14,386
純資産の部		
株主資本	52,646	51,743
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	41,425	40,519
自己株式	△ 11	△ 6
その他の包括利益累計額	4,896	2,317
その他有価証券評価差額金	3,464	1,977
土地再評価差額金	143	105
為替換算調整勘定	1,296	222
退職給付に係る調整累計額	△ 7	11
少数株主持分	1,235	1,209
純資産合計	58,778	55,270
負債純資産合計	74,394	69,656

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2014.4.1から 2015.3.31まで	前期 2013.4.1から 2014.3.31まで
売上高	45,550	41,053
売上原価	30,913	28,006
売上総利益	14,637	13,046
販売費及び一般管理費	9,500	8,211
営業利益	5,136	4,835
営業外収益	919	1,015
営業外費用	64	25
経常利益	5,991	5,824
特別利益	82	11
特別損失	388	11
税金等調整前当期純利益	5,685	5,824
法人税等	2,087	1,883
少数株主損益調整前当期純利益	3,597	3,940
少数株主利益	12	239
当期純利益	3,584	3,701

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2014.4.1から 2015.3.31まで	前期 2013.4.1から 2014.3.31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,273	6,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,846	△ 3,831
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,441	△ 1,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	348	345
現金及び現金同等物の増減額	△ 666	1,403
現金及び現金同等物の期首残高	13,523	12,119
現金及び現金同等物の期末残高	12,857	13,523

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 → <http://www.asahidia.co.jp/ir.shtml>

旭ダイヤ IR

株式の状況

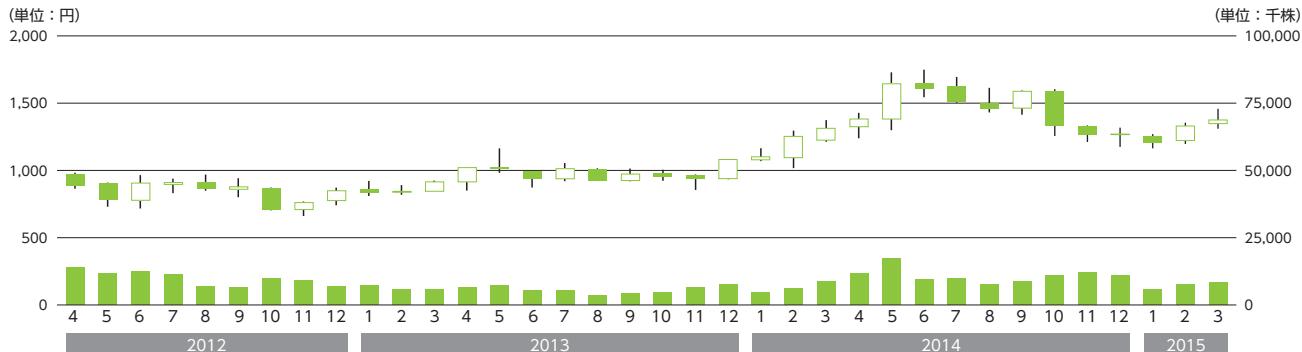
発行可能株式総数 190,300,000株
 発行済株式の総数 57,710,000株
 株主数 11,711名

大株主 (上位10名)

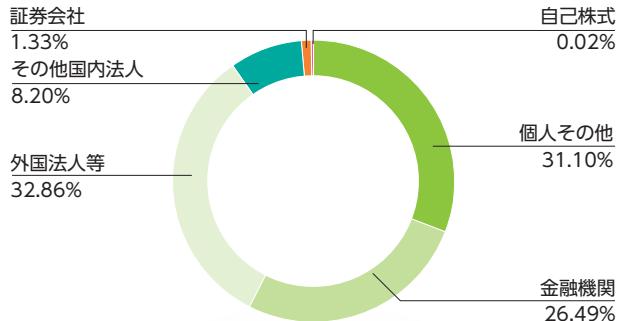
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,940	10.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,508	4.35
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	2,147	3.72
ジェーピー モルガン チェース バンク385174	2,091	3.62
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,008	3.48
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,433	2.49
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,384	2.40
三井住友信託銀行株式会社	1,370	2.37
ユニオンツール株式会社	1,310	2.27
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCR00	1,306	2.27

(注)1. 持株比率の計算は、自己株式10,224株を除いて計算しております。
 (注)2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

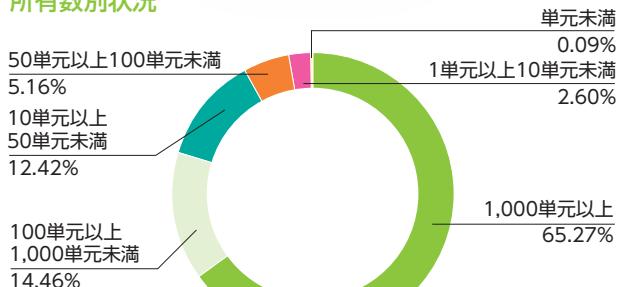
株価・出来高推移



所有者別状況



所有数別状況



会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号
 設立年月日 1937年10月9日
 資本金 4,102,188,450円
 従業員数 1,017名 (連結 2,147名)

役員 (2015年6月25日現在)

取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	粉川和勇
常務取締役	奥井威夫
取締役	藍敏雄
取締役	谷口和昭
取締役	鈴木徹
取締役	萩原利昌
取締役(社外)	小山修
取締役(社外)	永田新一

監査役

常勤監査役	高城光男
監査役(社外)	服部盛敏
監査役(社外)	大高由紀夫

執行役員

常務執行役員	大河内孝夫
常務執行役員	滝口明
執行役員	井元修三
執行役員	阿部英夫
執行役員	原智彦
執行役員	望月政司
執行役員	松田順一
執行役員	松川英樹
執行役員	花木永典

ネットワーク

国内



海外



駐在員事務所
 ヨーロッパ駐在員事務所 (フランス)

海外グループ会社
 上海旭ダイヤモンド工業 (中国)
 台湾旭ダイヤモンド工業 (台湾)
 新韓ダイヤモンド工業 (韓国)
 旭ダイヤモンドタイランド (タイ)
 旭ダイヤモンドインドネシア (インドネシア)
 旭ダイヤモンドオーストラリア (オーストラリア)
 旭ダイヤモンドアメリカ (アメリカ)
 旭ダイヤモンドヨーロッパ (フランス)
 是村磨料(上海) (中国)

株主メモ

決算と配当金のお支払	毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.asahidia.co.jp/) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



WEB サイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <http://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

